



平成 20 年 10 月 24 日

各 位

株式会社アルプス技研
IR・広報室

平成 20 年 12 月期第3四半期業績の概況について

株式会社アルプス技研の平成 20 年 12 月期第3四半期(平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日まで)業績の概況につきまして下記ご説明申し上げます。

【Ⅰ】第3四半期連結業績

連結業績の主要数値(金額は百万円未満切捨て、パーセントは小数点第二位四捨五入)

	当 第 3 四 半 期		前 年 同 期 比
売 上 高	アウトソーシングサービス事業	168億6,400万円	5億6,200万円増、3.5%増
	そ の 他 事 業	2億2,500万円	1億6,300万円減、41.9%減
	合 計	170億9,000万円	3億9,900万円増、2.4%増
営 業 利 益		12億円	2,800万円増、2.4%増
経 常 利 益		12億3,400万円	6,200万円増、5.3%増
第3四半期純利益		7億2,100万円	3,000万円減、4.1%減

(注:売上高は事業ごとに百万円未満を切捨てていますので、事業の売上高と合計売上高は合致していません。)

当第3四半期の連結売上高は、正社員の技術者派遣を主体とする「アウトソーシングサービス事業」による増収が「その他事業」の減収を上回り、前年同期比3億9,000万円増、2.4%増となっています。

「アウトソーシングサービス事業」の増収は、同事業売上高の94%を占めるアルプス技研とアルプスビジネスサービス両社の前年同期比4%台のプラス成長によるものです。その主たる要因は、派遣稼働時間減によるマイナス影響はありましたものの、派遣稼働人員増と技術者の技術力アップによる単価上昇によるものです。(派遣に関するファクターは【Ⅱ】の個別(アルプス技研)業績にてご説明申し上げます。)

損益面ではこの増収効果に加え、前年同期に赤字であったアルプスビジネスサービスの営業損益の好転により、営業利益、経常利益とも増益となりましたが、法人税等の調整要因によって第3四半期純利益は減益となっています。

【Ⅱ】第3四半期個別(アルプス技研)業績

(1) 個別(アルプス技研)業績の主要数値(金額は百万円未満切捨て、パーセントは小数点第二位四捨五入)

	当 第 3 四 半 期		前 年 同 期 比
売 上 高	アウトソーシングサービス事業	141億4,100万円	6億2,600万円増、4.6%増
	そ の 他 事 業	4,600万円	1億5,200万円減、76.7%減
	合 計	141億8,800万円	4億7,400万円増、3.5%増
営 業 利 益		11億5,500万円	4,600万円増、4.2%増
経 常 利 益		12億1,000万円	3,700万円増、3.2%増
第3四半期純利益		6億9,700万円	0百万円(586千円)増、0.1%増

(注:売上高は事業ごとに百万円未満を切捨てていますので、事業の売上高と合計売上高は合致していません。)

当第3四半期アルプス技研の売上高は、昨年7月に“モノづくり”事業を縮小した「その他事業」が大幅減収となっていますが、事業の選択と集中ならびに経営資源の再配分等を行った結果、前期比4億7,400万円増、3.5%増となっています。「アウトソーシングサービス事業」は、そのうち技術者派遣業が5.2%増と依然堅調なことから、前年同期比で6億2,600万円増、4.6%増となっています。

株式会社 アルプス技研

その結果、利益面では、原価率が前年同期の73.0%から72.5%へと0.5%改善(うち派遣の原価率は72.3%から71.6%へと0.7%の改善)されたことによる売上総利益増加や販管費の効率的な使用等によって、営業利益、経常利益ともに増益基調になっています。

なお当第3四半期純利益は、法人税等の調整要因があり、前年同期より0.1%増にとどまっています。

(2) 売上高上位100社による主要業種別売上高構成(売上高合計の80.3%)

(金額は百万円未満切捨て、パーセントは小数点第二位四捨五入)

	売上高	前年同期比	売上高構成比
自動車(完成車)	9億6,200万円	17.8%増	8.4%
自動車機器・部品	15億1,000万円	16.3%減	13.3%
カーナビ・オーディオ	5億5,500万円	11.3%増	4.9%
自動車関連小計	30億2,800万円	3.0%減	26.6%
精密機器	27億6,400万円	6.5%増	24.3%
家電	16億5,700万円	24.4%増	14.5%
半導体(含む製造装置)	14億1,100万円	0.0%(0.04%)減	12.4%
その他(ソフト、機械、通信他)	25億3,500万円	3.9%増	22.2%
100社合計	113億9,400万円	4.5%増	100.0%

(3) 派遣稼働率、派遣稼働時間、派遣単価

	単位	全派遣技術者平均		除く新卒派遣技術者	
		当第3四半期	前年同期	当第3四半期	前年同期
稼働率	%	93.6	94.3	96.4	96.0
稼働時間	時間/1ヶ月	175.2	176.0	175.8	176.6
単価	円/1時間	3,683	3,618	3,733	3,641

売上高上位100社による主要業種別では、家電メーカーへの売上成長(前年同期比24.4%増)が顕著で、ついで自動車(完成車)メーカー向けが同17.8%増、精密機器メーカー向けはカメラを主体とする光学機器関係が同19.8%増になっています。一方自動車機器・部品メーカー向けはマイナス成長(同16.3%減)となっています。また対半導体(含む製造装置)メーカーは一服感があります。

派遣稼働時間は全社で175.2時間と前年同期より0.8時間減となっています。ただし売上高上位100社では全社平均時間を0.9時間上回る176.1時間で、前年同期と比較すると概ね横ばいとなっております。業種では、家電などで増加が見られ、半導体などで減少しております。

(4) その他

9月下旬に中国の大学を卒業した中国人技術者(第4期生)が、アルプス技研に40名入社しました。中国人技術者の受入は、このあと年末までに更に20名を予定しています。

【Ⅲ】 通期(平成20年1月1日～平成20年12月31日)の業績ならびに配当予想について

欧米の金融危機など、世界経済は先行き非常に不透明な状況であり、特に円高傾向が今後の見通しに何らかの不安要因をもたらしています。しかしながら現時点では当社グループ技術者に対する引き合いに大きな変動はみられておりません。

以上の背景を十分に認識したうえで、平成20年8月11日付で公表いたしました今通期(平成20年1月1日～平成20年12月31日)の業績予想・配当予想の修正はいたしません。

(なお業績予想と実際の業績等は諸般の情勢変化によって異なる場合があります。)

以上